

宇都宮市立今泉小学校（第４・５学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
見通しをもって学習に取り組める授業デザイン「今泉モデル」を活用した授業を展開する。	児童一人一人が興味関心をもつことができる導入を工夫したり目的意識をもって頑張ることができるような目標や学習内容の設定を行い、主体的に学習に向かう姿勢を身に付けさせたりする。また、考える時間を十分に確保することで、考えを深めたり広げたりできるようにする。授業の終末では、自らの学びを振り返る時間を確保できるようにする。	「授業の中で目標（めあて・ねらい）がしめされている」の肯定的回答は、どちらの学年も90%を超えている。5年生は、昨年度同じ質問で肯定的に回答した児童の割合が90%を切っていたが、今年度の調査では94.8%と約7ポイント高まった。今後も児童が主体的に学習に取り組むことができるような学習課題やめあてを意識して授業を展開していく。「授業では、クラスの友達との間で話し合う活動をよく行っている」は、およそ90%の児童が肯定的に回答しているが、「グループなどの話し合いに自分から進んで参加している」の肯定的回答は80%を下回っている。自分の考えを伝えたり友達と考えを共有したりする活動を苦手としている児童がやや多いことが分かった。「授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよく行っている」の肯定的回答は、5年生は約80%に達しているが、4年生は70%を切っている。児童自身が何をどう学んだのか、そこからどんなことが分かったのか、次の学習につなげていけるよう振り返りの時間を十分に確保する工夫をしていく。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「授業で自分の考えをまとめて書くことはむずかしい」の肯定的回答の割合は、6割程度と低い。また、「クラスの友達との間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。」の肯定的回答の割合は、どちらの学年も7割程度だった。5年生は昨年度の8割程度から下がっている。	自分の考えを分かりやすく書いたり、伝えたりする力を身に付ける。 友達の考えを聞き、考えを深めたり広げたりすることができる指導の工夫をする。	各教科において、自分の考えを整理して書く活動を取り入れ、考える力や表現する力を高めていく。また、友達と考えを交流したり、共有したりする時間を確保し、考えを広げたり深めたりすることができるよう指導を工夫する。個人用パソコンを活用し、考えを整理したり伝える順序を組み立てたりしやすくする。完成したものを交流するだけでなく、考えをまとめていく過程でも、ICT機器を活用して協働的に学んでいくことで、分かりやすく書いたり、自信をもって伝えたりすることができる児童の育成に努めていく。